



SHINKAI NEWS

日署

あけぼの

発行責任者

新開昌彦後援会

福岡市早良区曙2丁目1-35
福岡県議会議員 新開 昌彦

Vol. 6 平成12年9月1日発行

新開県議中国・韓国を初訪問



全長6000kmの万里の長城

日中・日韓友好親善の旅へ

中日友好協会、韓日親善協会から、招聘を受けた公明党・新風福岡県議団は、訪問団を結成し八月十七日から二二日の日程で中国、韓国の両国を訪問しました。

訪問団は、北原守団長、広田誠一県議、上岡孝生県議、堀宏行県議、**新開昌彦県議**の五名と公明新聞高橋雅成記者が同行しました。

新開昌彦県議の中国、韓国の訪問は、今回が初めてです。

公明党の歴史を高く評価

中日友好協会 呉瑞鈞秘書長は、公明党の第一次訪中団の折に対応した者の一人として中日友好に果たしてきた公明党の役割を改めて評価されました。

さらに公明党が政権与党の中にあっても今までの党の歴史と使命を大切にしていたきたいとの期待が寄せられました。

信頼の構築こそが大事

韓日親善協会中央会裴泰洙事務総長は、南北朝鮮の離散家族の相互訪問について「感動的な相互訪問だった。第一段階として大きな一歩。」しかし、百二十万人の離散家族のうち希望者は八万人。そこから百人を抽選。墓参りなどはできなかった。と今後の課題も語った。

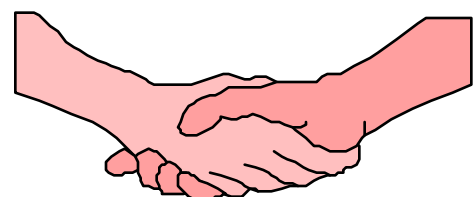
在日の地方参政権の問題について「お互いの信頼関係が大事。その上で与えられれば地域社会の一員として自信と責任感がもてるようになる」と語った。

訪問スケジュールです

8月17日～19日 中国 北京市
中日友好協会、中国外交部、故宮、北京市第一社会福利院、万里長城、蘆溝橋(中国人民抗日戦争記念彫刻園)

8月19日～21日 中国 瀋陽市・鞍山市
柳条溝 9.18 歴史博物館、遼寧大学、鞍山製鉄所、

8月21日～22日 韓国 ソウル
韓日親善協会、大韓貿易投資振興公社、康仁徳元統一部局長宅訪問





中国人民抗日戦争記念彫刻園で献花

この公園は、今年8月15日にオープンしたばかりの公園で、記念碑や38体の彫刻がおかれている。1937年7月7日中日戦争の引き金となった蘆溝橋事件が起こった宛平城に隣接している。

9.18 歴史博物館(下の写真)

1931年9月18日満州事変が勃発した場所に建てられている。満州事変から、日中国交回復までの歴史を資料展示している。「前事不忘后事之師 日中両国世代友好」と記して謹んで献花した。



中国の足は、圧倒的に自転車

北京市の人口1100万人、自転車も1100万台。一人に一台の自転車。各交差点では、自転車の修理を行う商売が成り立っている。

しかし、自転車も車も交通マナーは、かなり悪い。4日間の滞在で2件の車と自転車の交通事故を目撃した。



朝市。中国のパワーを感じる。

肉、川魚(ナマズが生きていた)、野菜、果物、肉まん、揚げ物などが即売される。

露天の後ろで朝食を食べさせる。一人2元。汁物と肉まんが朝食。おいしかったです。



謝謝! カムサハムニダ!

今回の中国・韓国の訪問は、皆様から議員という立場を与えていただいたからこそであります。改めて心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

世界は、確実に平和に向かって努力しています。

中国の幹部の方が「中国は、日本に対して国家賠償を求めなかった。その理由は、戦争責任は、一部の軍部にある。日本国民には責任はない。中国が国家賠償を求めれば日本国民が苦しむことになる。だから求めなかった。中国人民には、周恩来から誠意ある説明がなされた。」と聞きました。

人民を第一に考えた周恩来の判断に感動を覚えました。二度と戦争は起こしてはならない。そのための信頼関係を築かなければなりません。

そのための努力を続けて参ります。